



# あらかわ区報 Jr.

ArakawaKuhō Junior

平成29年3/16

発行 荒川区●23,000部発行  
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111



## 身近なプログラミングの 世界をのぞいてみよう!

プログラミングは、コンピューターを動かす際に、コンピューターが分かる言葉で指示を出すことです。一見難しそうですが、実はとても身近な技術です。例えば改札、タブレットPC、電子黒板、信号機、エアコンなど生活のさまざまな場面で使われています。そんなプログラミングの楽しさを紹介します。



ICカードをかざすと改札口が開く



エアコンの温度が設定できる



タブレットPCと電子黒板に  
同じ画面を映す



信号が赤から青に切り替わる

瞬時に運賃を  
計算して  
いるんだ

無線で  
機械同士がつながって  
いるんだね

切り替える  
タイミングを  
管理して  
いるよ

リモコンの信号を  
エアコンのセンサーが  
読み取ってるんだよ



▲今回、プログラミング体験をした第三中学校のジュニア記者。左から、筒井葵さん、明戸陽香さん、長谷川駿くん、奈木野拓真くん。  
「コンピューターがうまく動くように指示を与えるプログラミング。自分でやってみるとすごく楽しいよ!」



はかせ

みんなは知っておるかな。平成32年度から、コンピューターのプログラミング教育が必修になるんじゃ。こうした動きに先駆けて、荒川区では平成26年9月から区立の全小・中学校でタブレットPCを導入しておる。パソコンの使い方を学んで、調べ学習やレポート発表などに幅広く活用しておるんじゃ。また、区内の中学校では、大学と協力してソフトウェアを作っておるんじゃよ。これから、ますますプログラミング学習の論理的な考え方が必要な時代になるじゃろう。みんなの未来に役立つように、区では積極的にコンピューター教育に取り組んでいるんじゃよ。

問合せ 指導室 ☎内線3385 / 東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス ☎3801-0145



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます。  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は5月に発行する予定です

# 教えて!先生★プログラミングは楽しいものです



私たちは毎日、さまざまなプログラムに囲まれて生活しています。例えば携帯電話の中にもプログラムはあるんですよ。そうしたことに気が付くと「自分とは関係ない」と思っていたプログラミングが、実はとても身近なものだと分かってきます。「難しい」と決めつけずに、まず気軽にトライしてみましょう。別に将来の仕事にしなくてもいいんです。広く浅く構いません。ロボットをイメージ通りに動かす楽しさは、何よりも直感で分かります。プログラミングの体験を通して、皆さんの世界はさらに大きく広がるはずです。

東京都立産業技術高等専門学校 准教授 笠原美左和先生

## プログラミング教室in中学校が開かれました

2月22日に原中学校、3月7日に諏訪台中学校で、大学の先生を迎えたプログラミング教室を実施。その様子を紹介します。

早稲田大学基幹理工学部の山中脩也先生が来校し、プログラミングの実習を行いました。「自分の名字を出力させる」「命令を繰り返す」などのプログラムを作成しました。パソコンに不慣れで戸惑う生徒もいる中、山中先生は優しく「どんどん失敗していいからね」「まずはやってみよう!」と声かけ。その言葉に押されて、生徒たちもパソコンと向き合いながら積極的に楽しんでいました。



▲親しみやすい雰囲気、生徒も気軽に質問していました



▲優しくも自主性を重視して授業を進める山中先生

▶プログラムに間違いがあっても、どこがどう違うかわかりやすく教えてくれます



▶楽しい授業であっという間の2時間でした

## 懐かしいあの日あの時 思い出写真館



### No.37 1988年ごろの現・サンパール通り



▲当時から生活幹線道路として交通量が多い通りでした

わくわくするね!



# プログラミングって面白い!

東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスで、プログラミング体験にチャレンジ。取材前は「難しそう」「ちゃんとできるかな」とドキドキしていたジュニア記者も、プログラミングの楽しさに夢中になりました。



どんな体験ができるか楽しみ!

早く自分でやってみたいな



▼オレンジのボタンを押すとロボットの車が起動。プログラムで動きます

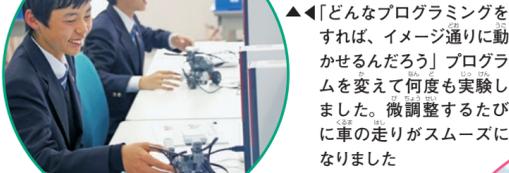


▲「プログラミングって何?」真剣な顔で、先生の話に耳を傾けるジュニア記者

頑張ってプログラミングしてみよう!



上手く動かせるかな



▲「どんなプログラミングをすれば、イメージ通りに動かせるんだろう?」プログラムを変えて何度も実験しました。微調整するたびに車の走りがスムーズになりました

みんな楽しそうね!



▲パソコンの画面上で「モーターを動かす」「止める」「音を鳴らす」など、さまざまな機能を持ったブロックを組み合わせてプログラミング。それを車にダウンロードします

プログラミングはアイデア次第で楽しくなるよ!



▲何度もロボットにプログラムをダウンロードして、指示通り動くかどうか試します。「やった!うまく動いたよ!」

## みんなのプログラミング大成功!



▲終わり時間ギリギリまで頑張って、みんな納得の行く仕上がりにりました

思いっきり楽しめたよ!



今回、プログラミングについて教えてくれたのは、東京都立産業技術高等専門学校ロボット工学コースの笠原美左和先生。ずらりとパソコンが並ぶ教室で、まず最初にプログラミングについて説明を受けました。コンピュータが理解できる言葉をプログラムと言います。プログラムを使い、コンピュータに考えさせて、物事を判断させるためのルールを作るのがプログラミングです。

実際にプログラミングを理解するには、自分で体験するのが一番。そこでさっそくプログラミングで走る小さな車のロボットを動かすことになりました。

まずは、パソコンと車が接続されているかを確認。車のタッチセンサーに触れると音が鳴るように、パソコンでプログラムを作ったロボットに送ります。ジュニア記者は「パソコンから情報をダウンロードしたら、すぐ音が鳴ることにビックリした!」そうです。さらに音が繰り返すように、プログラムを作りました。

自分らしいやり方で車庫入れに挑戦

プログラミングのコツをだんだんつかんできたジュニア記者。いよいよモーターを回して、車を走らせるためのプログラム作りに取り掛かります。

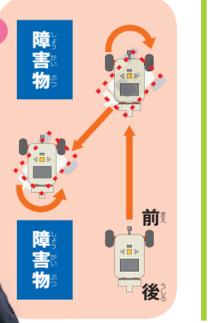
ドキドキしながらボタンを押すと、車は見事に走り出しました。「機械を動かすのはもって大変かと思っただけ、意外に簡単で楽しいよ」とジュニア記者。車をカーブさせるプログラミングも覚えました。

最後の挑戦は、車庫入れ

のプログラミング。どうすれば、うまく後ろから車庫に入れられるのか。それが自分らしい発想でプログラムを作ります。「距離や角度を考えてプログラミングしているのワクワクするね」。何度も微調整して、一人一人が個性的な車庫入れのプログラムを作り上げました。

体験取材を終えたジュニア記者は「もともとプログラミングを勉強したくなりませんでした」とニコリ。プログラミングの楽しさを実感する充実した一日になりました。

▲車一台分の狭いスペースにうまく止めるのは大変。みんな自分なりに工夫を凝らして、何度も挑戦しました



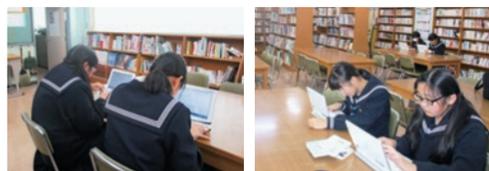
障害物 障害物



# 学校訪問

部活動

学校自慢



▲部活動の様子

## 第五中学校

町屋1-37-16

生徒が部活動を紹介します  
文芸部

私たちが、荒川五中の文芸部は、2年生2人、1年生4人の計6人で活動しています。毎週火曜日と木曜日に、タブレットPCを使って物語の作成を行っています。制作した物語は、1月に行われる学習発表会展示の部で作品集として発表しています。私たち文芸部員は、最初はほとんどが初心者です。なので、どうやって物語を作ったらいのか分からず、活動時間のほとんどを何も書かずに過ごしてしまいう事もありました。けれど、活動を重ねるうちに、全員が個性ある作品を書き上げる事ができるようになりました。今は、物語の質を上げていく事が目標です。言葉と言葉のつなげ方を工夫したり、



▲学習発表会で作品を発表しました

今、文芸部は、一人一人の活動が主になるので、他学年同士の関わりがほかの部活と比べると薄いです。なので、もっと他学年とも意見交換などをしてそれぞれの力を高めていきたいです。そして、全員が心を合わせて、よりよい文芸部を作っていきたいと思っております。  
執筆 部長 2年 奥山結衣

## 赤土小学校

東尾久2-43-9

学校の自慢を児童が紹介します



▲AKDスポーツタイムで持久走に取り組んでいます

①AKDスポーツタイム  
週一回、全校児童で運動をする時間があり、持久走や長なわ、短なわを行っています。個人でカードに記録を残したり、クラスごとに回数を競い合ったりして、楽しく運動に取り組んでいます。  
②交流タイム  
縦割り班活動の中に「なかよし読書」があります。低学年、高学年が互いに読み聞かせを行い、交流を深めています。

赤土小学校は学校の目の前に日暮里・舎人ライナーが走っている、東京都で唯一、電車の駅名になっている小学校です。



▲「ふれあい給食」で地域の方と交流を深めています

また、給食関係では、お誕生日をお祝いする「お誕生日給食」、学年全員で給食を食べる「お楽しみ給食」、地域の方との「ふれあい給食」を行っています。  
私たちは、このような活動を通して、たくさんの人たちと交流し、皆さんのつながりを深めています。  
執筆 6年 高木淳匡  
加藤愛唯  
稲見遥香

## 防災部活動レポート

尾久西小学校  
東京消防庁 1月27日  
「救命入門コース」受講



尾久西小ジュニア防災クラブの4・5年生10人が、東京消防庁の「救命入門コース」を受講。人工呼吸や胸骨圧迫、AEDの操作など、救命救助の流れを尾久消防署員の方に教わりながら、一人一人真剣に取り組みました。受講後は、修了認定証を一人ずつ手渡しされ、「これからは、倒れている人がいたら声をかけて助けたい」と力強く話しました。



▲参加者全員が無事認定証を受け取りました

全区立中学校  
あらBOSAI 2017  
3月4日



あらかわ遊園運動場で「あらBOSAI 2017」が開催。西川区長の挨拶の後、さまざまなイベントが行われました。防災部が中心となった防災体験プログラムでは、ネクタイ・新聞紙・レジ袋を使った応急手当の実演など、防災部員が大活躍でした。

## あらかわ今昔ものがたり あらかわの歴史と伝説 その107 太田道灌とあらかわ① ～日暮里と道灌さん～

あらかわの町は、ほとんどが平らだね。この平らな地形は、下町低地と呼ばれているんだ。そんな荒川区でも西の方には高台がある。西日暮里三丁目の諏訪台とそれに続く四丁目の道灌山だね。  
諏訪台は、見晴らしが良い諏方神社境内から付いた地名。道灌山は、太田道灌という人物に由来するんだ。  
ところで、みんなは、太田道灌さんを知っているかい？

江戸城主・道灌さん  
道灌さんは、室町時代にあの江戸城を築いた人物なんだよ。江戸城は、徳川幕府の初代将軍・徳川家康が最初に造った城だと思ってる人が多いんじゃないかな。  
実はね、江戸城は、今から560年前の長禄元年(1457)に、築城されたんだよ。この頃、関東地方は内乱の時代を迎えていて、道灌さんは、鎌倉扇谷に館を構えていた名門・上杉氏に仕える武将だったんだ。  
江戸城は、関東北部からの敵の侵入を防ぎ、関東一帯に勢力を広めるために、河越城(現、埼玉県川越市)等に先がけて造られた城なんだよ。

本行寺と道灌さん  
道灌さんの子孫、掛川藩(現、静岡県掛川市)太田家の菩提寺である本行寺(西日暮里三丁目)にも道灌物見塚があった。江戸時代に本行寺に何度も泊まった小林一茶さんが「陽炎や道灌どのの物見塚」の句を詠んでいる。明治時代に鉄道を敷く時に壊されたけど、今でも境内には道灌丘碑(区指定文化財)があるよ。  
諏方神社と道灌さん  
諏方神社に伝わる縁起にも、道灌さんが登場する。日暮里に出城を築いた時に神社の建物を修理し、鎮守として5石の領地を下さったと記されているんだ。  
日暮里の歴史にとって、道灌さんは大切な人物だったことが分かるよ。  
道灌さんが残した足跡は、三河島(現、荒川区)の「山吹の里伝説」や南千住の石浜神社辺りと言われる石浜城跡にも残っているよ。みんなで見つけてみよう！



日暮里駅前の太田道灌像「回天一枝」橋本浩道作

問合せ 荒川ふるさと文化館  
(3807)9234